

キャラクター名
フィリア

プレイヤー名

種族	ミアキス	種族特徴	暗視、猫変化、獣性の発露		
生まれ	密偵	性別	女	年齢	知らないけど14歳
冒険者Lv	11	経歴	魔神のいけにえにされそうになったことがある		
経験点	6700		近所では一番の物知りだった		
			罪を犯したことがある		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
技	15	器用度	2	16		33 + 1	5	グラップラー	11		
		敏捷度	10	17		42 + 1	7	フェアリーティマー	2		
体	6	筋力	2	10		18	3	スカウト	9		
		生命力	8	15		29	4	エンハンサー	7		
心	4	知力	14	9		27	4	アルケミスト	5		
		精神力	8	7		19	3				

戦闘特技				言語	会話	読文
追加攻撃	220 p	飛び蹴り	IB38 p	交易共通語	○	○
投げ攻撃	225 p	武器習熟S/格闘	IB31 p	魔動機文明語	○	○
カウンター	2120 p			妖精語	○	
鎧貫き	IB39 p			ミアキス語	○	
トレジャーハント	2120 p					
ファストアクション	2123 p					
影走り	2120 p					
防具習熟/非金属鎧	222 p					
武器習熟/格闘	221 p					
頑強	IB29 p					
命中強化	IB32 p					

練技/呪歌/騎芸/賦術		
ガゼルフット		
キャッツアイ		
マッスルベアー		
アンチボディ		
ケンタウロスレッグ		
デーモンフィンガー		
メディテーション		
クリティカルレイ		
ヴォーパルウェボン		
パークメイル		
パラライズミスト		
イニシアチブブースト		

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	11	16	18	14
フェンサー	0			
シューター	0			

必要 ランク	必要			合計値	22	5
	筋力	回避力	防護点			
鎧	クラフト済みリユクスベスト*7*7	8	4	3		
盾						
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)						1
回避技能	グラップラー					

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12																
								3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
竜刃の脚	1H#	5	3	2d+ 20	8	18	30																	
投げ	2H	0		2d+ 17	12	17	0																	
グラップラー専用				2d+																				
				2d+																				
				2d+																				
				2d+																				
				2d+																				
				2d+																				

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	68 m	204 m	2d+ 22	5	77

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 16	2d+ 15	2d+ 14	25

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
妖精魔法	2	6			

装備品		説明
頭	宝石ケース	ダイヤ+オニキス搭載
耳	蝙蝠の耳飾り	
顔	ひらめき眼鏡	
首	ポーションインジェクター	デクスタリティポーション入り
背中	奇跡亭エンブレム	命中+1、生命抵抗+1
右手	巧みの指輪	
腰	多機能ブラックベルト	
足	韋駄天ブーツ	
その他	飛猫	下記のメモ欄参照

装備品		説明
左手	俊足の指輪	
	アルケミーキット	

その他メモ	自動失敗 チェック
「あたいはフィリア。流れの拳闘士だよ」	□□□□⑤
「むかしかったいい冒険者に助けられたことがあって、そいつを探しているんだ」	□□□□⑩
「あー……そうそう、この腕輪ね。この腕輪を落としてたから返すために冒険者になったんだよ」	□□□□⑮
「まあ、今は一人でぶらぶら出来る力もないしさ、ひとつよろしく頼むよ」	□□□□⑳
かつて魔神の生贄にされそうになったが、間一髪で冒険者（遺跡荒らし？詳細不明）に助けられた猫。彼の戦闘スタイルに憧れてシューターの道に進むことを決意しとりあえずエイントック十字弓道場に入門しようとする。	□□□□㉑
が、全くの非力が祟り挫折、もとい追いつかれ、途方に暮れたフィリアはダーレスブルグの外れにあるスラム街で暮らし始めた。	□□□□㉒
そこではかこそが物をいう正に蛮族じみたやり方がまかり通っており、彼女は持たざる者側に回るかと思われた…	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

